

呉羽山丘陵 NEWS

VOL 4 R7年1月1日

発行所 呉羽山観光協会
ドリームブリッジくれは
連絡先 富山市吉作 3682-3
呉羽ハイツ内 ☎:076-436-0191

呉羽山丘陵の麓

蕎麦に魅せられ暮らす

高浪 勇

呉羽山丘陵には点在する史跡が数多くあります。丘陵の麓で暮らす我々には、歴史的にも豊かな郷土として誇りの持てる住み心地の良いところです。

この地域で生まれ育った私は、長じてそばに魅せられ、この丘陵で〔栽培〕から〔食〕に至るまで一貫したそば作りに賛同してくれる同志とともに取り組んで、約20年の歳月が経ちました。

呉羽丘陵でのそば栽培活動は、初め吉作地区でスタートしましたが、今は「呉羽そば生産組合・代表山口敏雄さん」が中心となって取り組んでいただいている、生産地も境野新や開ヶ丘に移ってきました。ここで蕎麦を栽培し、自然乾燥の後、石臼で引き粉にし、そばを手打ちし、人様の口に届けることを一生懸命にやってきて、一層生産する喜びとそばの魅力にとりつかれています。



①播種: 4~5日後



②栽培: 2週間後



③開花: 1か月後

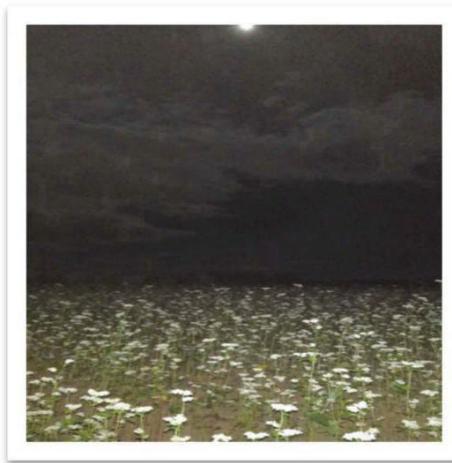


④収穫: 70日後

一本の蕎麦というものは、そば5色ともいわれ、黒は実、白は花、緑は葉、赤は茎、黄色は根、と語られています。

その中の赤い茎について、画家の丸木俊さんはエッセイ「原野の蕎麦」で「野を切り開き野を焼いて蕎麦をまく、開墾の第一歩は蕎麦であった。秋、白い小さな花をつけた蕎麦の茎は地面の近くで赤かった。誰かに何かで何事があったのか、殺された女の血がこんこんと流れて山の斜面を濡らしたと、そこへ生えて実ったのが蕎麦。蕎麦の茎が血のように赤いのは、そう言う訳。と聞いたように、うろ覚えに覚えています」と語っています。

また蕎麦の白い花について、歌人の宮柊二さんはエッセイ「そばの花の畠」で「どこで誰の話であったものか、その記憶が薄らいできてしまったが、月夜の晩には花の咲いた蕎麦の畠をじっと見るものではない。と聞かされた話を思い出す。気狂いになるからだと人は言った。」いずれも語り継がれてきた話です。白い蕎麦花の咲く風景は、村の静かな暮らしがある所でした。



<村夜>・・・白居易（白楽天）

霜草（そうそう）	蒼蒼（そうそう）として	蟲切切（むしせつせつ）たり
村南（そんなん）	村北（そんほく）	行人（こうじん）絶（た）ゆ
独り（ひとり）	門前に出でて	野田（やでん）を望めば
月明らかにして	蕎麦（きょうばく）	花は雪の如し

古来から人々は、蕎麦は食することのほかに、そば畠の風景や、そばの茎一本までが豊饒なる蕎麦の正体として楽しみ、それが私の心にしっかりと息づいているのです。

〈蕎麦は縁起物〉

古来より蕎麦が縁起物として扱われる理由は、蕎麦がうどんなどと比較しても非常に切れやすいことから厄災との縁を断ち切るという意味合いや、長く伸びる蕎麦にあやかり延命長寿を願う意味合いなどが込められているからです。

冬の散歩を楽しむ・・・不思議な妖精たちを探そう

木々の葉っぱで覆われた呉羽丘陵の夏が終わり、秋の紅葉を楽しませてくれた山々。そして今、冬の散策路を歩くと、葉を落とした隙間だらけの木立からは明るい陽ざしが降りそそいでます。今回は、そんな冬の季節の楽しみ方をご紹介します！ 実は、冬の森には「小さな妖精」がたくさん潜んでいます。

「笑っている妖精」「バンザイしている妖精」「ヒツジの顔のような妖精」などなど冬にしか現れない不思議な世界が広がっています。

皆さん、そんな冬の呉羽丘陵を楽しみませんか？

冬芽(ふゆめ)・・・

春に葉っぱになる「葉芽」と、花になる「花芽」があります。形は種類により様々、冬から春先にしか観れない世界がひっそりと、でも愉快にこちらを見ています。



オニグルミ=ヒツジの顔に見えませんか？
アルパカとかにも似てるけど。



オオカメノキ=
バンザイしてる？



トチノキ=
宇宙人？

葉痕(ようこん)・・・

葉っぱが付いていた「跡/痕跡」です。
その形や模様も様々、なぜか「笑ってる顔」が多いような？



クズ(葛)=
つる性なので木に
こんな顔して、たく
さん絡んでます。



カラスザンショウ=笑ってますね！
トゲトゲのある木です。

呉羽山観光協会イベントのご案内

開催日	曜日	受付	開始	内容・コース	終了
第10回呉羽山丘陵の魅力を探る会					
2月20日	木	13:00	13:30	調整中 HP掲載予定	15:30
令和6年度野鳥探鳥会					
3月上旬		9:00	9:30	調整中 HP掲載予定	12:00
令和6年度第56回定期総会					
5月上旬		9:30	10:00	調整中 HP掲載予定	12:00

※イベント詳細は確定次第、呉羽山観光協会HPに掲載します。

右記のQRコードからお入りください。



【イベントお申し込み】

- ・呉羽山観光協会、主催のイベントへのお申込みはHP掲載のQRコードよりご確認下さい。
- ・FAXでお申し込みの方は、呉羽山観光協会事務局までご送信下さい。
呉羽山観光協会事務局（呉羽ハイツ）FAX番号：076-436-0190
- ・電話でお申し込みの方は事務局までご連絡下さい。
呉羽山観光協会 事務局 阿部：090-2031-0874
- ・参加申し込みの期限は、各イベント共通、開催日の10日前です。
- ・未定イベントの内容が確定次第、呉羽山観光協会HPに掲載します。

NPO法人きんたろう俱楽部

NPO法人きんたろう俱楽部は呉羽丘陵を中心に森づくりや里山の利活用をおこなっている団体です。

・今後の計画詳細は右記QRコードからご確認下さい。



呉羽丘陵月いちウォーク 毎月第2土曜日

楽しく歩く、聞く、話す、交流する

呉羽丘陵の自然に親しみ、健康づくりも兼ねてウォーキングしてみませんか。

集合場所：富山市ファミリーパーク自然体験センター（西口より橋を渡ってすぐ）

スタート：9：30 受付：9：00 事前申し込み不要 参加費200円

雨天決行・警報発令時中止

第2土曜	5kmゆっくりコース／約2時間6,000歩程	8kmコース／約2時間半10,000歩程
	ガイド有り 5km 2時間30分先着45名	
81回	新雪を踏んで杉木立からのぞみの丘へ	砂防ダムからの御鷹台の眺望を楽しむ
1月11日	第3P→観音堂→杉木立の森→古墳の路→栎の木広場→のぞみの丘→12→企業の森→これは山荘→これはなガーデン→古沢用水沿い→北口	北口→古沢用水沿い→これはなガーデン→これは山荘→砂防ダム→13→12→のぞみの丘→栎の木広場→古墳の路→塚山古墳→御鷹台→古沢用水沿い→古沢神明社→第3P
82回	ファミリーパークの路を歩く	ファミリーパークから白鳥城までの眺望を楽しむ
2月8日	ヤマネコ口→バードピア→サル山→ふしきの山→みはらし広場→きんたろうの森→青竹の森→観音堂→杉木立の森→第3P	ヤマネコ口→バードピア→サル山→ふしきの山→みはらし広場→栎の木広場→のぞみの丘→12→13→14→南P→白鳥城址→15→富山湾眺望の丘→これは山荘→これはなガーデン→古沢用水沿い→北口

※1～18鉄塔・・・・天候や古道再生などで、コース一部変更する事があります。

【お問い合わせ】

呉羽丘陵月いちウォーク実行委員会

TEL：090-5207-3405（担当今井）

初めての方・おひとりの方・お子様も大歓迎

どうぞお気軽にご参加ください

呉羽丘陵フットパスを健康づくりの森として楽しみましょう

市民ぐるみ里山再生、観光・環境教育など多彩に利活用

健やかな幸せ・豊かな健康寿命社会実現と持続を目指しましょう



[主催] 呉羽丘陵月いちウォーク実行委員会

ウォーキング冒険塾・金屋ふるさとの会・NPO法人きんたろう俱楽部・呉羽山観光協会

ドリームブリッジくれは・富山市ファミリーパーク・NPO法人花街道薬膳のまちを夢みる会

【呉羽山公園の近代化について】



小柴直矩著の『呉羽山』より（大正2年9月20日発行） 明治43年測量図

小柴直矩氏発行（大正2年9月20日）の【呉羽山】では「呉羽山とは、全山の総名にして、連峰の部分により城山、明神山、五時谷、安養坊山、道心山、桜谷、長岡、八箇山等の称なり」と記されている。そして尾根道については「五福新道の白壁茶屋より近道して山上長久院（現、七面堂）の坂道を上り、それより西に向かい坂を下れば旧北陸街道の峠路に出る」とし、さらに「明神山を越えれば、・・拾余町にして城山に達す、城跡なり」と記している。また「白壁茶屋から御成坂を登りて北へ進めば拾余町にして山頂（お野立所）に着す」と呉羽山一帯を紹介している。

明治43年測量図の測量図からは神通川が馳越工事を終えて直線的に流れ、神通大橋、富山大橋も架かり北陸鉄道も呉羽山トンネルを通って富山駅に向かっている。五福新道や尾根道も描かれ近代化の様子がうかがえる。

【近代化の概要】

呉羽山と城山が約90年ぶりに「呉羽丘陵フットパス連絡橋」の完成によって繋がる時、呉羽山が辿ってきた近代化の概要を紹介したい。呉羽山は、富山藩時代からゆかりの神社仏閣が建ち、桜の名所として広く住民に親しまれていた。その後、明治時代に入り合寺令など改革の波を受けましたが殖産興業へと近代化へ一気に道が進んだ。その第一波が明治5年（1872）から始まった明治天皇の全国巡幸があった。第3回、北陸東海の巡幸で富山県（当時は石川県）では、明治11年9月28日から4日間の滞在だった。県では、巡幸の一一行（人馬800人余）が北陸街道の峠部分（標高約52m）を越えるのには急勾配で狭く困難なため、新たに北側の鞍部部分を10mほど切り下げた「五福新道」を整備した。この新道を輿で越えられたのが9月30日である。

五福新道以降も近代化に応じて道路や鉄道の工事が次の通り進んだ。

- ・明治32年3月、北陸鉄道（後の北陸線）が呉羽山を迂回して田刈屋に富山停車場が完成し米原富山間が全通する。
- ・明治34年から進められていた神通川駆越工事が明治36年竣工、神通大橋（木橋）も同年5月21日完成し、富山停車場への道路が確保される。
- ・北陸鉄道の呉羽山トンネルが明治41年竣工、富山駅も現在地へ移転し魚津駅まで開通する。
(直江津まで大正2年に開通し、米原・直江津間が全通する)
- ・富山大橋（木の橋）が明治42年4月14日竣工し、富山69聯隊までの兵営道路整備となる。
- ・市電、富山駅～小泉町間で大正2年9月1日営業開始。
- ・市電「呉羽線」が大正5年11月22日、呉羽山公園の開発に対応して西町から安野屋を経て呉羽山公園下まで3.3Km延長される。（昭和19年5月、廃止）同時に呉羽山公園下（山の堺捨）から山頂ヘロープウェイが敷設されるが翌年事故により廃止。
- ・旧神通川廃川地の開発が大正7年、神通川の本格的な改修工事の着手後、昭和3年都市計画事業として運河、区画整理、街路網の整備を決定し昭和5年着手する。
- ・越中鉄道（後の射水線）が大正12年8月工事着手、大正13年富山北口～四方間営業開始、大正15年新富山～打出間延長。
- ・呉羽山公園下から山頂ヘインクラインが大正14年4月営業開始、昭和3年営業廃止。
- ・飛越鉄道（高山線）が昭和6年～昭和9年10月全通。
- ・旧国道11号線（後の国道8号）が昭和7年工事着手、呉羽山鞍部部分は昭和11年工事、これにて呉羽山丘陵は分断され呉羽山と城山側に分かれる。

【山頂道路】

明治42年（1909）10月、皇太子の嘉仁親王（後の大正天皇）が、31歳の時、北陸巡遊の折、呉羽山からの眺望を愉しまれることになり、明治41年11月から翌年9月まで11か月、工事費4,414円89銭をかけて1021間（約1840m）を開削、整備された。『長岡の郷土史』によると、国道の呉羽山山麓の坂を登ると七面堂に至る小径を半ば登り詰めたところに「鶴賀白壁茶屋」があり、ここから雨上がりのぬかるんだ道を宇佐美知事、前田群長らとともに登られ、御野立所に駐駕された。

【呉羽山公園と三角点】

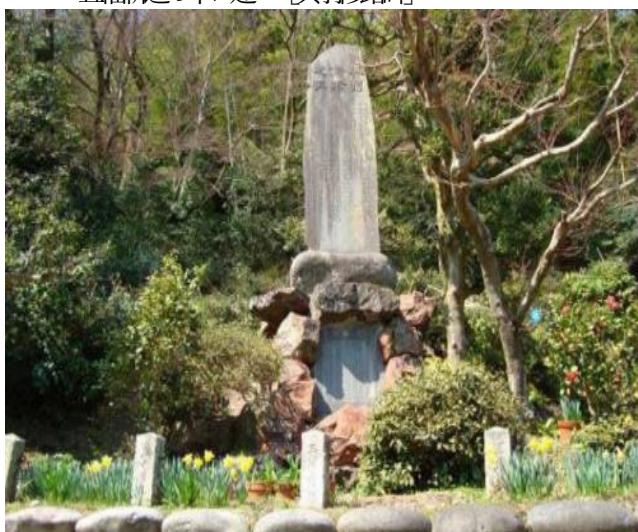
呉羽山山頂の「呉羽山公園」は古くサクラの名所で「桜の広場」という。

サクラを植え始めたのは、明治42年大正天皇が皇太子の時、呉羽山に登られたのがきっかけというがその後、大正4年（1915）10月大正天皇の御大典記念事業として呉羽山公園の整備に乗り出し、その1つとしてサクラが植栽され呉羽山一帯に凡そ500本のサクラがあると言われる。また三角点（海拔71.3m）は、桜の広場の転落防止策下にある。

【大正期の拡幅修築の碑「呉羽修路碑】

五福新道は、馬車や自動車時代に入ると幅員の狭さやすれ違いの問題など経済的、社会的に動脈の機能を維持できにくくなり、改修を余儀なくされた。大正8年1月起工、峠部分をさらに18尺（5.4m、標高37m）掘り下げ、延長2750尺（825m）にわたって工事費3万余円で改修し、勾配を緩くした。その記念に大正10年12月に「呉羽修路碑」が建碑された。

五福新道の中に建つ「呉羽修路碑」



【国道11号（後の8号）の工事】

昭和7年（1932）現在の富山大学（陸軍歩兵第69聯隊兵営）から高岡間の国道11号工事が始まった。昭和10年呉羽山鞍部分で「五福新道」をさらに8.5m掘り下げ標高31m地点まで下げて通過し、昭和16年高岡までが完成した。

【ロープウェイからインクラインへ】

呉羽山までの足の確保が大きな課題であった。大正5年には、市街電車を公園下まで延長した。さらに電車の終点近くの「山の堺捨」があったあたりから、旧富山市天文台付近までの間を民間の資本でロープウェイが敷設された。別名「ロンドン」といい、山頂に呉羽運行体を設置して2本の綱を張り渡してゴンドラで人や荷物を上げ下げさせるものであった。ある業界主催の園遊会で詰めかける客を捌くため、全速力で運行体を稼働させていたところ、ゴンドラ同士が接触して大惨事となり、開業1年を待たずして廃業した。次は大正13年、民間資本により、インクラインの敷設工事が着手され、翌年4月に開業した。軌間1117mの一部複線区間を2台の車輌が上下する釣瓶式ケーブルカーで、山頂駅の15馬力電動巻き上げ機で運行した。しかし、最初から経営不振で経営者も行方不明になり昭和3年には許可が取り消され、すべて撤去された。

【飛越線の敷設】

岐阜と富山から中部縦貫鉄道路線として着工した。富山からは、北陸線の田刈屋信号所（現在桜谷小学校グランド南にあった。昭和31年北陸線複線化で廃止された）から分岐し、「飛越線」として、昭和2年9月1日越中八尾まで開通した。その後、順次伸延し4年10月には笛津、5年11月に猪谷、7年8月に杉原、8年11月に坂上、9年10月25日に高山まで開通し、岐阜から北伸してきた「高山線」と接続、全線が「高山線」として中京圏と北陸圏が鉄道で結ばれ、大きな政治・経済・文化効果が生まれることとなった。

【市内軌道呉羽山線】

呉羽山の観光化に伴い、富山電気軌道株式会社により軌道が敷設された。「郵便局前」（現在の一番町付近）で分岐し旅籠町、桃井町、招魂社裏、招魂社前、安野屋から神通川を木造橋の新大橋で渡り、新大橋西詰め、練兵場前、聯隊前、衛戌病院前、脳病院前、呉羽山公園前までの2.8kmが大正5年11月22日に開通した。五福8区交差点から西へ進み、牛ヶ首用水を渡って五福4区地内を斜めに北進する道がその名残である。大正9年7月1日から富山市営に、さらに昭和18年1月1日、県下交通大統合により富山地方鉄道と民営の軌道になったが、翌19年この呉羽線は不要不急の遊覧線と評価されて衛戌病院前から呉羽山公園前まで廃止され、レールも撤去されてしまった。

【観光道路】

大正5年に呉羽山公園下まで開通した市内軌道に接続して、山際に沿って幅5間（約9m）の直線の観光道路が翌年7月、八幡社前まで取り付けられた。途中、馬渡川を「安福橋」安養坊の「安」と五福の「福」で命名したものか？現在のコンクリート橋は、昭和37年（1962年竣工）で渡る。

【観光登山道の新設】

神通大橋から八幡社までの直線の道が、大正12年秋に開通した。両側にヤマザクラが植えられ、観光地呉羽山へのふさわしい導入路を形成した。北側には壮大な富山県立商業学校が建ち、文化興隆のシンボルでもあった。市内軌道終点からの道に繋げて、八幡社から右折し、長慶寺への道を利用して山頂まで登山道も整備された。

【公園化への都市計画決定】

昭和14年11月24日、呉羽山公園の都市計画が決定する（城址公園、磯部桜並木道も同時決定）

【夢の懸け橋の完成】

富山高岡間の新国道11号線（国道8号）の工事が昭和10年代に進められ、呉羽山丘陵を分断する。

このような呉羽山丘陵ではあるが、昭和33年富山国体の開催に合わせて、城山にNHKのTV塔が建つ。その後、昭和35年富山ヘルスセンター（富山観光ホテル）、昭和40年民芸館が開設され、昭和44年呉羽山丘陵の大半を呉羽山公園（113.8ha,一部、昭和14年決定済）と城山公園（324.5ha）に都市計画が決定された。さらに城山公園側では昭和47年呉羽ハイツ、富山医科大学が進出、昭和59年ファミリーパークが開園するなど大型施設が建設され、なかでも自動車が通れる本格的な道路が呉羽ハイツに合わせて五福寺町（国道8号）から吉作間で開通し、呉羽山丘陵全体がレクリエーションの場として期待されるようになった。



これらを受け、呉羽山公園と城山公園を自動車で結ぶ連絡橋の整備が叫ばれ、そして分断された区間に架ける橋を「夢の懸け橋」と呼ぶようになった。以降50年ほど色々な調査や議論がなされたが、令和3年3月23日（2021）夢の懸け橋の起工式を迎え、令和5年10月27日開通式を迎えた。整備された連絡橋は、吊り橋構造で全長124m、幅1.8m（車いす2台分）で県道から29mの高さの位置に架かり、北側橋詰めは、以前「富山観光ホテル」があった場所で、跡地を広場としイベント飲食などができる賑わい施設として計画される。また南側の橋詰めは、旧北陸街道が呉羽山丘陵を上り詰めた峠にあたり、峠茶屋の稻荷神社入口部にあたる。呉羽山公園と城山公園が連絡橋で結ばれることは、呉羽山丘陵全体のネットワーク化が進み、民族民芸村、多目的広場や呉羽ハイツ、そしてファミリーパークなどの拠点施設を結ぶフットパスとしての利用促進につながるものと思われる。（完成は令和8年3月想定）

全国唯一の奇想天外な建設物 1/10復元模型

職芸学院上野幸夫教授（解説）

【七面造りとは】

日蓮宗の守護神、七面大明神（鬼門を閉ざして七面を開くとされる女神）を安置するための堂の建築様式。1階の拝殿は、入母屋造平入りで正面中央の向拝が最高の格式である唐破風となっている。2階の本殿は、方形造で正面と背面が千鳥破風、両側面が軒唐破風と言う複雑な形になる。社寺建築としては、特異な重層様式であり。大変壯麗な建物である。峠茶屋は、北陸街道（巡見上使道）が呉羽山丘陵を横断する峠（海拔50m位）のことで寛永10年（1633）、清左衛門が西の斜面に家建てを許されたことに始まる。本村は五福村で当時の三茶屋絵図では家の数は12軒、男27人、女22人と記されている。富山藩が誕生したのは、寛永16年（1639）であったが、富山藩土奥村蔵人が万治年間（1658～1660）に初代富山藩主前田利次公から峠茶屋の東側斜面、五時谷を拝領して山上近くに七面大明神を祀る「七面宮」を建設した。このことにより明神山と呼ばれるようになった。



田畠会長のコラム

令和6年能登半島地震において、斜面崩落や浄化槽損壊など呉羽山の中でも大きな影響を受けた呉羽ハイツでしたが、多くの皆様のご尽力により5月には営業が再開され、9月には多目的ホールの利用も再開されました。

関係者の皆様方のご努力に深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。引き続き、駐車場などの復旧等に向けて私も国會議員として富山県、富山市と連携しながら力を尽くして参ります。また、呉羽丘陵フットパス連絡橋の周辺広場官民連携事業は、富山市で初のパークPFI制度により進められますが、整備の順調な進展に向けて当観光協会として各方面と密に連携を取り、多様な景色を楽しむことができる魅力的な空間づくりの実現に努めます。12月～3月の冬季期間は安全確保のため閉鎖となります、4月より令和7年度の解放を予定しております。皆様もぜひ連絡橋からの春の眺望をお楽しみください。



ホームページ開設のお知らせ

令和6年度、呉羽山観光協会、ホームページを開設致しました。

*イベント詳細は確定次第、呉羽山観光協会HPに掲載します。

*各種、情報の提供をHPに掲載します。

右記のQRコードからお入りください。



URL <https://kurehayama.com>

ドリームブリッジくれは

*イベント詳細は確定次第、ドリームブリッジくれはHPに掲載します。

右記のQRコードからお入りください。



会員募集



「楽しく一緒に活動しませんか？」

《呉羽山観光協会・ドリームブリッジくれは》では、呉羽山丘陵で自然とふれあい、フットパスで健康づくりに汗を流す、古墳や史跡・遺跡を学び、ボランティアガイドを目指す等、日々の生活に潤い

をもたらす活動を展開しています。ぜひ仲間になりませんか。活動状況は各協会のHPをご覧下さい。
お電話でお問い合わせの場合は右記まで。呉羽ハイツ内事務局 076-436-0191

会員・協賛団体・協賛企業

個人会員は未掲載（個人情報保護）・敬称略・順不同

五福校下自治振興会	社会福祉法人梨雲福祉会	呉羽地域連合自治振興会
五福連合町内会	富山市ファミリーパーク	呉羽懇話会
寺町連合町内会	豊栄稻荷神社	五福校下ふるさとづくり推進協議会
金屋連合町内会	富山日野自動車株式会社	桜谷地区ふるさとづくり推進協議会
桜谷自治振興会	富山市北商工会 呉羽支部	呉羽地区ふるさとづくり推進協議会
神明地区自治振興会	三耐工業株式会社	長岡地区ふるさとづくり推進協議会
呉羽地区自治振興会	呉羽ハイツ	古沢地区ふるさとづくり推進協議会
呉羽町自治会	有限会社クレハペイント	老田地区ふるさとづくり推進協議会
吉作自治会	富山鋼機株式会社	寒江地区ふるさとづくり推進協議会
高木自治会	株式会社柴崎農園	池多地区ふるさとづくり推進協議会
茶屋町自治会	社会福祉法人 めひの野園	富山熔断株式会社
追分茶屋自治会	社会保険労務士法人ワークデザイン	藤川建設株式会社
住吉自治会	日拓測量調査株式会社	N P O 法人富山県自然保護協会
花木自治会	松原建設株式会社	
長岡地区自治振興会	株式会社 ModelingX	
長岡新自治会	いおざき印刷株式会社	
八ヶ山自治会	トヨタモビリティ富山株式会社	
古沢地区自治振興会	ネットトヨタ富山株式会社	
杉谷自治会		
古沢自治会		
老田地区自治振興会		
寒江地区自治振興会		
池多地区自治振興会		
呉羽本町自治会		
富田町自治会		